

2014

全国

第9回 全国山菜文化産業祭

山菜サミット

IN 串間

西日本
初開催

感じてみらんね!
宮崎最南端の串間からお届けする
"FOOD(風土)愛"

第9回全国山菜文化産業祭「2014全国山菜サミット in 串間」が5月17、18日の2日間にわたって約4,000人が集い、宮崎県串間市で開催され、林野庁からは、牧元林政部長が出席しました。

西日本初の会場となった串間市は、宮崎県南部に位置し、日南海岸国定公園や、飫肥杉で有名であり、豊かな自然に恵まれた農林水産物の宝庫です。日本一の生産量を誇るツフブキや、モミジガサ等の山菜が出荷されています。今回の全国山菜サミットでは、地元で採取される山菜とその効能や料理方法など、山菜の魅力を様々な形で紹介されました。

全国山菜文化産業祭は、国内の山菜資源の保続・拡大と、生産・消費の持続的発展、山菜文化の普及・伝承・創造を図り、山村地域の振興に貢献することを目的として毎年開かれています。

農林水産 まつり

会場周辺で開催された農林水産まつりには、約30の農林水産物販売ブースや木工体験ブース、地場産業のパネル展などが立ち並び、山菜料理コンテストや丸太早切り競争などのステージイベントが行われ、多くの来場者で賑わいました。

おびすぎ 飫肥杉体験コーナー

宮崎県の地域材・飫肥杉の体験コーナーには、飫肥杉で作られた積み木やサッカーボール風の遊具などが設置され、大人も子どもも楽しむことのできる空間となっていました。



杉でできた「木んぎょ」すくい

木工体験ブース



杉製品販売コーナー



基調講演 パネルディスカッション

メイン会場の串間市文化会館では、17日午後から基調講演とパネルディスカッションが開催されました。

基調講演では、地元・串間市出身の菊永茂司（きくながしげし）ノートルダム清心女子大学教授による山菜を取り入れた和食の健康効果などについての講演や、タレントの高木美保さんの講演が行われ、里山と里海をテーマにしたパネルディスカッションでは、地元の林業や農業、漁業者の代表を交えて活発な意見交換が行われました。

基調講演

「自然を感じて暮らす」 タレント 高木美保さん
 「山菜の恵みを活かした和食が支える日本人の健康」
 ノートルダム清心女子大学 菊永茂司教授

パネルディスカッション

「山菜の魅力と串間の宝である里山・里海を未来へつなごう」

パネラー



フリーパーソナリティ
坂井淳子さん



漁業者代表
大田幸宏さん



林業者代表 南那珂森林
組合長 島田俊光さん



農業者代表
竹原英智さん



ノートルダム清心女子大
菊永茂司教授



タレント
高木美保さん

地産地消 レストラン

串間市文化会館小ホールに設けられた地産地消レストランでは、串間市の山菜や魚貝等、地元の食材を使った料理が提供されました。

山菜料理 コンテスト

山菜料理コンテストでは、山菜料理の部では「芋ニョッキと春の恵みふわふわ炒め」、お菓子の部では「日向夏とヨーグルトのパウンドケーキ」がそれぞれ1位に輝きました。



山菜料理コンテスト試食風景



山菜料理の部で1位
芋ニョッキと春の恵みふわふわ炒め

料理コンテスト参加作品



肉巻き山菜芋コロッケ



ツワブキとガラタケの万年煮

